

キャラクター名  
矢口 朱

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	司書
オプション	サラマンダー	年齢	15	性別	女
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	30%
出自	天涯孤独	経験	UGNへの畏怖	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	8
精神	4	1	1			6	戦闘移動	13
社会	4	0	0			4	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉	3	
回避			知覚			意志	5	1	調達	5	
運転:			芸術:			知識: 出版	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
集中力過剰		11r+6				情報収集: 侵食4、C値10、HP5点消費
→侵食率60		12r+6				
→侵食率80		13r+6				
→侵食率100		16r+6				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
医療トランク	
思い出の一品	
アクセサリ	
コネ: 手配師	
携帯電話	
制服	
フォーマル	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D: 優しい奇跡	P	N		
藤宮 幽斗	P 尽力	N 偏愛		
黒い霧	P 懐旧	N 恐怖		
坂塚 恭吾	P 庇護	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 18    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	〈意志〉		
効果:	情報収集判定、さらに判定ダイス+LV個							
トランキリティ	3	3	メジャー/リアクション	至近	自身	〈精神〉		
効果:	判定ダイス+[LV+1]個、ただしHPロス3点を受ける							
リフレックス: ソラリス	2	2	リアクション			シンドローム		
効果:	クリティカル値-LV (下限7)							
命の盾	1	1	リアクション	至近	自身	〈交渉〉		
効果:	ドッジを行う							
氷壁	1	5	オート	至近	自身	〈RC〉	未行動→行動済み	
効果:	「射程: 視界」のキャラクターが行った攻撃の命中値と対決→勝利した場合攻撃を失敗させる							
ディヴィジョン	1	1d	オート	視界	単体		LV/シナリオ	
効果:	対象が受けるHPダメージを半分(端数切捨て)にし、この方法で軽減したのと同じだけのHPを失う							
フェニックスの翼	2	4	クリンナップ	至近	自身			
効果:	HPを[LV*5]点回復(戦闘中でない場合、制限[1/シーン])							
快適室温	★		メジャー			自動		
効果:	シーン内の気温を任意に調節							
ドクタードリトル	★		メジャー			自動(交渉)		
効果:	あらゆる言語を使いこなし、動物とすら意思疎通を行える							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

矢口 朱 (やぐち あけみ)  
 中の人: おぼろ アバター: 黒谷ヤマメ

生まれも育ちも門崎市の、UGN門崎支部に籍をおくエージェント。  
 幼少期にシンドロームを発症、先代支部長である藤宮悠樹の保護観察下で育つ。  
 その知識と集中力で異常とも言える後方支援能力を発揮、支部のブレインとして  
 藤宮悠樹とともに門崎市の平和を守ってきた。  
 そんな功績もあって、先代が失踪した際に周囲から次期支部長として指名を受けるが  
 「家系優先！」などとのたまって藤宮悠斗にその座を押し付けた。  
 (…が、これは彼女の抱える言い知れぬ恐怖がそうさせたものである。  
 UGNという組織に対する"何か"が、彼女を支部長の座に就かせることを拒んだのだ)

世間には精神疾患(※)として通っており、一般の教育機関に通わずに専門の機関で  
 治療を受けているということになっている。その一環として図書館で司書を務め、  
 街の人々と交流することでリハビリを行っている…というカヴァー。  
 休館日の図書館に入り浸り、蔵書を読破するのがライフワーク。  
 (曰く、"そろそろ二周目"だとか。ノイマン恐るべし)

どこで覚えたのか、自称"のじゃろり"。  
 威厳を見せたい時に使っているらしいが、たぶん何かを間違えている。  
 …動物達と意思疎通するに当たって都合が良いのだろうか？